

(件名) 障害者等の医療費助成制度の現物給付（窓口無料）を求めることについて

(陳情の要旨)

障害のある私たちの暮らしは、今、年々厳しさを増してきています。現在の医療費償還払いでは、翌月に医療費が戻ってくるものの立て替えるお金が手元ないと病院に行けません。だんだん病院行きを先延ばししているうちに重篤になった人もいます。軽いうちに病院に行っていたら入院することはなく、医療費の抑制にもつながったはずです。

また子どもさん連れの方は診察の支払いを済ます間、薬局に移動する間、とても一人に対応するのは厳しく、他にも付き添う人の協力を得ないと病院には行けない状況もみられます。申請手続き自体も重なり、障害児の場合も保護者の負担が増しています。

30都道府県が立て替え払いのない現物給付（窓口無料）を実施しています。ぜひ鹿児島県においても、現物給付（窓口無料）を実現していただきますよう心からお願いするものです。

以上の趣旨に基づき下記事項を陳情いたします。

記

1. 障害者等の医療費助成制度（公費負担事業）の現物給付化（窓口無料）を年齢制限なし、所得制限なしでおこなうこと。
2. 即時窓口無料化できない場合は、自動償還払いを年齢制限なし、所得制限なしでおこなうこと。
3. 市町村、医療機関、国保連との自動償還払い方式へ向けた意見交換進捗状況を3ヶ月あるいは6ヶ月おきに当会に報告すること。